

連合2019平和行動がスタート!

平和行動in沖縄に連合長崎から25人が参加



平和オキナワ集会にて(連合本部 相原事務局長と)

沖縄の「慰霊の日」である6月23日(日)から25日(火)の3日間「平和行動in沖縄」が開催され、連合長崎からは宮崎会長を団長に総勢25人が参加しました。

1日目は沖縄空手会館において平和オキナワ集会が開催され、全国から1,274人の参加がありました。「他国地位協定調査について」と題して沖縄県知事公室基地対策課調査班長である島袋秀樹さまの講演がありました。「国内法の適用」「訓練・演習に対する受入国の関与」「航空機事故への対応」など、それぞれの国での対応状況、日本と他国との違いについて報告がありました。日本は他国に比べ米国に配慮した対応があり、沖縄県を含む国内での米軍基地の課題について、再認識をしました。早急な日米地位協定の抜本的見直しをはかる事の重要性を改めて感じ、暑さの中にも心に残る講演でした。

その後開催された平和式典では、沖縄戦で亡くなったすべての人々に哀悼の意を捧げ、国民が安心して暮らせるよう「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を強く求め、今後も粘り強



「日米地位協定の抜本的見直し」を求めデモ行進

く平和運動を推進していこうという平和アピールが採択されました。

2日目・3日目は、「旧海軍司令部壕」「平和祈念公園」「ひめゆりの塔」「嘉数高台公園」など大戦時、唯一地上戦が行われた沖縄戦の戦跡を巡るフィールドワークを行いました。

また、2日目の夕方には県庁前県民広場において集会が開催され、国際通りを牧志公園までデモ行進を行い、基地問題、安倍政権の暴走反対を参加者全員で訴えました。

大戦の中で、たくさんの民間人が犠牲になった沖縄そして長崎。大戦で尊い犠牲を払い、現在もなお米軍基地の約7割が集中しているという沖縄の現状を学び、今後も粘り強く平和を訴えていこうと参加者それぞれが感じることが出来た3日間でした。

この沖縄から戦後74年目の連合の平和行動はスタートしますが、広島・長崎・根室へと引継ぎ、「平和の大切さ・尊さ」の思いをたくさんの人々に伝えていきましょう。

～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～ 政策・制度学習会で理解を深める

連合長崎は、働く者・生活者が求める政策・制度の実現に向け、毎年長崎県に対し(各地協は市町に対し)、政策・制度要求行動を行っています。

この政策・制度実現に向けた取り組みに理解を深めるため、6月4日(火)18:30～九州ろうきん長崎支店会議室において「連合長崎2019年度 政策・制度学習会」を開催し、構成組織、地協・ブロック、また政党・各級議員より53名が出席しました。

学習会では、「働くことを軸とする安心社会に向けた政策・政策制度実現の取り組みについて」と題し、連合本部 経済政策局 山根正幸局長からご講演をいただきました。まずは、今回連合結成30周年を迎

えるにあたり、新たな連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」が策定され、連合がどのような社会像を求めているのかが説明されました。また、本部で議論されている「2020年度 連合の重点政策」の各項目について解説があり、政策を実現するために国や世論にどのようにアプローチしているかご説明いただきました。

その後、連合長崎の宮本副事務局長から、現在取りまとめ中の「長崎県に対する政策制度要求書(案)」について提起しました。要求書は、参加者の意見などを踏まえて最終的な内容を確定し、長崎県に対し8月下旬以降に提出する予定です。

《連合がめざす社会像とは》

- ・働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会である。
- ・加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性別、障がいの有無、国籍などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会、すなわち「つづく社会」「つづきたい社会」である。



連合長崎の政策制度要求を説明する
宮本副事務局長



連合本部の重点政策を説明する
経済政策局 山根局長

6月は男女平等月間！

—— 連合長崎は男女平等に向けた取り組みを進めています ——



「仕事以外のコトに資産が埋まっている」と訴える小津様

★男女平等月間学習会の開催

6月29日(土)長崎県勤労福祉会館で開催し、85人の方に参加いただきました。今年は、ファザーリングジャパン九州の小津智一様に「イクボスから人生100年ライフシフトへ」と題して、ご講演いただきました。

小津様の生まれ育った環境の話から始まり、就職・そして転職をし、今は病院・事業内保育所施設の企画・運営をされていること、離職率が高く、残業が多かった保育所を改善して、新・ダイバーシティ企業100選に選ばれた経緯が話されました。その中で、イクボスの必要性を感じ、実践されているそうです。イクボスとは「①職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考えキャリアと人生を応援する ②組織の業績も結果を出す ③自らも仕事と私生活を楽しむことができる」そんな上司(経営者・管理者)のことを表しています。

今の日本は10年間で2歳ずつ平均寿命が延びている状況です。そのような人生100時代を迎えるにあたって、過去の「教育→仕事→老後」といったロールモデルが役に立たないようになってきています。仕事以外のコトに資産は埋まっています。自分自身が人生の主役になるために、「時間をどう作るか、何に使うか」「重要な他者に出会う」「自分の人生の軸(好きなこと、得意なこと)を見つける」ことが重要となってきます。国の制度改革、企業の意識改革も必要ですが、一人一人が自分こととして取り組む個人の意識改革も必要と話されました。

長崎県は男性の育児参加がワースト1だそうです。一人一人の行動でこの現状を変えていきましょう。

★長崎労働局雇用環境・均等室へ要請

連合長崎男女平等参画推進委員会・女性委員会および連合長崎は、6月24日(月)、長崎労働局雇用環境・均等室に対し、「雇用における男女平等に関する要請書」を提出しました。

働き方改革への取り組みに注目が集まる中、女性活躍をはじめ、さまざまな人びとがいきいきと働ける従業環境の整備・改善は一層重要な課題となっています。

連合長崎を代表し、連合長崎男女平等参画推進委員会 松田委員長から長崎労働局雇用環境・均等室 上野真弓室長に対し要請書を手交しました。要請項目は、育児・介護休業法、女性活躍推進法、仕事と育児の両立支援、様々なハラスメント対策、仕事と不妊治療の両立支援 等について8項目ありました。雇用環境・均等室からは、法律や指針に基づいて企業に提案や是正指導の実施、ホームページ等を活用した周知、諸課題や相談に適切に対応できるよう研鑽・研修に努める等の回答をいただきました。今般の第198通常国会では女性活躍推進法が改正され、ILO総会では「仕事の世界における暴力とハラスメント」に関する条例も採択されました。連合長崎は長崎労働局とともに、ハラスメントのないワーク・ライフ・バランス社会の実現に取り組んでまいります。



雇用環境・均等室長に要請書を手交

アジア・アフリカ支援米活動！ 各地協での田植え今年も始まる！



今年も6月9日(日)の長崎・諫早・北松地区からアジア・アフリカ支援米活動がスタートしました。毎年8つの地協・ブロックにご協力いただいています。

今年収穫したお米は、アフリカ(マリ共和国)・アジア(カンボジア・くつくま孤児院)に送るほか、長崎県内の子ども食堂・フードバンクにも寄付をし、支援に役立てていただく予定です。

今年も、田植え・稲刈り、そして発送まで、皆様のご協力をよろしくお願いします。

長崎地区



諫早地区



島原地区



佐世保地区



北松地区



五島地区



大東地区



対馬地区



くつくまにお米到着!!

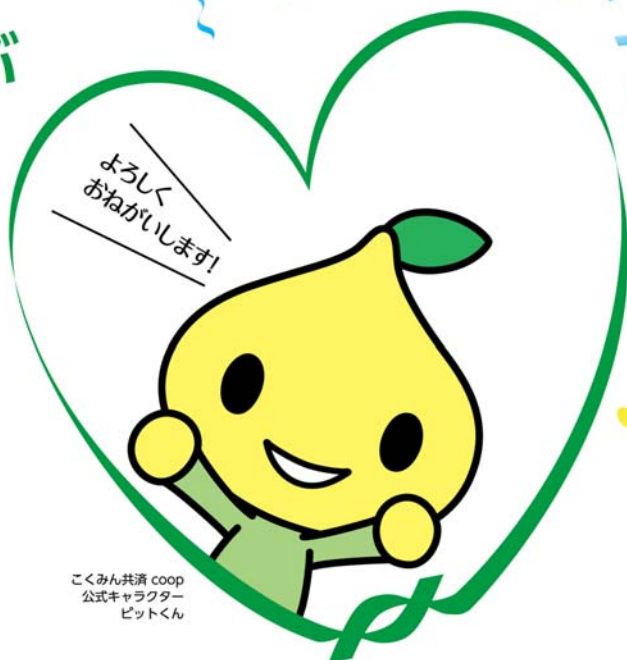


— 2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ —

たすけあいの輪をむすぶ 「こくみん共済 coop」 スタート!

こくみん共済 coopがめざすのは、
みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会の実現。
私たちは、協力団体の皆さまと培ってきた
労働者自主福祉による事業と運動を
さらに強化・発展させ、
組合員の生活を支えていきます。

そして、その取り組みを広く発信していくことにより、
協力団体・組合員はもとより
生活者全体に広く展開します。



住みいる共済	火災共済・自然災害共済	こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠責共済	団体生命共済	交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済
coop
全国労働者共済生活協同組合連合会

連合長崎「第18回フォトコンテスト」を開催しています!

今年で18回目となりますフォトコンテストを下記の要領で開催します。皆さんの応募をお待ちしております。

- 募集期間 2019年5月27日(月)～8月23日(金)
※当日消印有効
- 応募資格 連合長崎組合員およびその家族、退職者
- 送付先 連合長崎事務所(〒850-0031 長崎市
桜町9-6 勤労福祉会館1階)
- 題材 テーマは自由
- 作品 デジカメ写真可。1人3枚まで。(3枚以内
の作品で組写真も可。ただし、組写真の
場合はテープなどでつないでください。)
- 応募規定 ・応募票(私製複写可)は、各作品の裏面

に必ず貼付してください。

- ・入賞作品の著作権は、主催者に帰属することとします。

- 賞 最優秀賞(1点・3万円相当)
優秀賞(2点)、連合長崎会長賞(1点)
連合長崎副会長賞(1点)、入賞(4点)
佳作(10点)
- 入賞発表 機関紙「連合長崎速報」「連合長崎ホームページ」で発表。
- その他 入賞作品等については、連合長崎定期大会(地方委員会)会場での展示や、連合長崎の各種印刷物に使用する場合があります。

「連合長崎第18回フォトコンテスト」応募票

タイトル					
フリガナ		年齢		性別	男 ・ 女
氏 名					
組 合 名	職場連絡先TEL () -			応募者	組 合 員 ・ その 家 族 組合員 O B
自 宅 住 所 TEL	〒	都 道 府 県	区 郡 市	町 村	番 地 番
	TEL ()	-			

長崎選挙区「白川あゆみ」と 連合組織内10人の必勝をめざそう！

7月21日に投開票が予定されている第25回参議院選挙は、国民無視の安倍政権の暴走にストップをかけ、本来の民主主義、そして働く者・生活者の現実に証言を当てた政治を私たちの手に取り戻す選挙です。

長崎選挙区では、白川あゆみさんの推薦を決定し、勝利に向けて全力で取り組んでいます。

また、比例区では、連合が10人の組織内候補者の推薦を決定し、出身組織を中心に勝利に向けた取り組みを行っています。

働く人や家族の生活を守るためにも、この選挙には勝利しなければなりません。勝利するためには、長崎選挙区、比例区とも組合員一人ひとりの支持者拡大に向けた行動が必要です。ぜひご家族の方も含め支援をお願いします。最後まで全力でがんばりましょう！

長崎選挙区



あなたと共に
あゆみたい！

白川あゆみ氏

あゆとも SNS



あゆともでは、SNSでの情報発信を行っています。
白川あゆみさんの情報が知りたい、応援したい etc...
そんな思いをお持ちのみなさん
ぜひフォローをお願いします。



Facebook



Instagram



Twitter



比例区：連合組織内候補者

働く仲間の
笑顔のために

UAゼンセン
田村まみ



ともに
真っすぐ！
自治労
岸まきこ



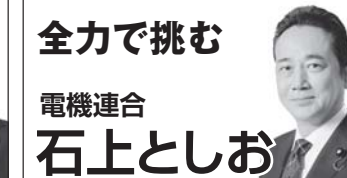
仲間の思い
かたちにしたい

自動車総連
いそざき哲史



全力で挑む

電機連合
石上としお



働くみんなの
力になりたい

基幹労連
田中ひさや



「結」国民が主人公

JP労組
小沢まさひと



教育、くらし、平和
希望ある未来を子どもたちに！

日教組
みずおか俊一



まっすぐに力強く！
働く仲間のために

電力総連
浜野よしふみ



変わらぬ原点、
立ち向かう志。

情報労連
吉川さおり



みんなで描く
地域の未来
みんなの想いを国政へ

私鉄総連
もりやたかし

